

全国ろう学校PTA連合会会長 関 良規

昨年に引き続き、令和4年度全国ろう学校PTA連合会（以下 全ろうP）
会長を務めさせていただきます関良規と申します。（自己紹介については右記QR
コードよりホームページ掲載の昨年度の挨拶をご参照ください。）



今年の夏は昨年よりさらに酷い暑さを感じ、昨夏は九州・西日本、今夏は北陸～東北の日
本海側といった形で毎年水害被害は繰り返され、まずは、被災された方には心よりお見舞い
申し上げます。

さて、2年目の会長職といたしまして、コロナ禍からの新しい生活様式の中における会
の在り方への道筋を作ることで皆様に貢献して参りたいと存じます。新型コロナウイルス感
染症対策として理事会開催で活用してきたオンライン会議を、今年度、これまで書面開催と
してきた総会に拡げました。第60回を迎えた総会に63もの学校に参加していただき、花
を添えていただきました。これからも、理事会と総会については全国各地から多くの会員の
皆様に参加しやすい会になることを意図して、運営面でのノウハウ蓄積を努めて参ります。

一方、10月7-8日で行われる家庭教育を考える部会は、コロナ以後の2年間は参集のな
い報告書での代替やオンライン及びオンデマンド配信の形式を取りましたが、今年は3年
ぶりの参集型でそのメリットを得るべき開催になります。2月頃には指導誌「道標」に開催
内容が掲載され皆様のお手元にも頒布される予定ですが、限られた誌面になることを踏ま
え、全ろうPが助成する各地区の研修会などに活かされるべく、参集型を活用いただきた
いと存じます。今年度の主管地区・事務局として準備を進めている東海地区聾学校PTA連絡
協議会、三重聾学校PTAには感謝申し上げます。

ところで、全ろうPが共催する事業には全国聾学校陸上競技大会と卓球大会もあります。
60回目の総会と前述しましたが、全ろうPは1963年（昭和38年）の創立、その翌年の
1964年といえば東京オリンピックが開催された年として、その機運から全国聾学校の高等
部の陸上競技大会と卓球大会が誕生したと聞きます。両大会は今年が共に第59回とのこと
ですが、陸上競技大会を主管する山形校、卓球大会を主管する香川校の皆さんには多大なる
ご支援に感謝申し上げます。選手の皆さんは過去に無い新記録など目指して励んでいただ
ければと思います。2025年の東京でのデフリンピック開催に向け招致活動が行われていま
す。本誌が発行される9月20日には開催都市の結果発表が行われていることでしょう。あ
らゆるスポーツを支援できるほど規模のある全ろうPではありませんが、このような大会
に出場した選手が3年後の東京で世界の選手と戦う姿を是非見たいと思っています。

様々な行事を主管する各地区の学校やPTAにおいては、少子化などの影響を受けて運営を引き受けにくくなっているとも聞きます。2007年4月に学校教育法の一部が改正されて、聾教育が聴覚障害教育、特殊教育が特別支援教育と名称が変更され、例えば聴覚障害校と知的障害校のように複数併置する所（昨年度の全ろうP加盟校で本校と分校合わせて97校中22校にもなっています）や、聴覚障害の児童生徒が通級型の学校で学ぶケースも増えています。聾教育（聴覚障害教育）を取り巻く環境は大きく変わり、学校の名称が変わっていますが、専門性が備わるべき教育内容が変わるようでは困ります。2020年に実施された「実態調査」では、聴覚障害の専門校から併置校への転換に由来する課題等も挙がっていました。全ろうPの設立趣旨は「聾学校教育の振興発展を願う」です。専門的な教育や学力向上などの学校への期待に対して、各校の先生方も日頃より全力で取り組まれていることと思います。先生方がやろうとしていることを実現できることが子供たちの最大のメリットだと考え、全ろうPが全国特別支援教育推進連盟を通して文科省と厚労省に予算要望する機会なども活かして、その実現に近づけて参りたいと存じます。すべての子供たちが明るく楽しくそして元気に学校生活を送ってもらうことを祈念し、ご挨拶といたします。